

手 立 て の 考 え 方

【困難さの背景】

〇〇さんは、◆◆なことが苦手かもしれないな。

読む・読み取る

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
文章を読み取ったり、要約したりすることが難しい	文章の内容をイメージできるように

【困難さ】

〇〇さんは◆◆なことが苦手だから、授業でこんなことに困っているのではないかな？このままでは学習が面白くないだろうし、どうすればいいだろう。

【指導の工夫の意図】

〇〇さんは、こんなことに困っているのだから、◇◇できるようにしてあげたい。そうすれば、他の児童生徒たちと同じように授業に参加でき、教科の目標も達成できるかもしれない。

<手立て>

① 具体的にイメージできるようにする	② ○○○○○○○○○○
<ul style="list-style-type: none"> ・話のイメージ（流れ）がつかみやすいように、ポイントとなる場面のイラスト（挿絵）を追加する。 ・物語の読み取りにおいては、気持ちを表す言葉をカードに書いて示す。 	<p>【手立て】</p> <p>指導の工夫の意図を踏まえて〇〇さんの困難さに対して、こんな配慮や工夫をして授業や学習活動をしてみよう！</p>

ポイント！

本紙に例示されている事例は、あくまでも一般的な事例になります。困難さのある全ての児童生徒に当てはまるものではありません。また、同じ困難さを抱えていても、必ずしも同じ「手立て」が有効であるとは限りません。目の前にいる児童生徒に合った指導・支援を見つけてください。